木曽調だより

東海農政局木曽川水系土地改良調査管理事務所

2024
MAKE THE MOST OF
WATER
――水を活かす――

No.44



（表紙写真　安濃ダム）

■世界農業遺産を訪ねてみませんか
■インターンシップ（就業体験実習）の実施状況
■農業水利ストック情報データベースシステムの活用
■矢作川沿岸地区の全体実施設計に着手します
■国営かんがい排水事業「西濃用水第三期地区」事業着工
■地域整備方向検討調査「濃尾用水第三期地域」
■直轄管理事業「濃尾用水地区（犬山頭首工）」の環境配慮対策について
■国営施設機能保全事業「中勢用水地区」
■国営施設機能保全事業「尾張西部地区」

世界農業遺産を訪ねてみませんか

世界農業遺産とは

世界農業遺産（GIAHS）は、社会や環境に適応しながら何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに密接に関わって育まれた文化、ランドスケープ及びシースケープ、農業生物多様性などが相互に関連して一体となった、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域（農林水産業システム）であり、後世に引き継ぐことを目的に2002年に国際連合食糧農業機関（FAO）により創設されました。

世界で26か国86地域、日本では15地域が認定され、東海農政局管内では「清流長良川の鮎・里川における人と鮎のつながり」が2015年12月に認定されています。

岐阜県長良川上中流域　清流長良川の鮎　～里川における人と鮎のつながり～

岐阜県を流れる長良川は、全長166km、流域に86万人が暮らしています。漁業者や市民団体による水源かん養林の育成や河川の清掃など、人が適切に管理することで、資源を保全するとともに良好な環境を生み出し、清流に育まれた漁業、農業、林業などの産業が発達している「里川」です。なかでも、鮎を中心とした内水面漁業が盛んで、鵜飼漁を始めとした伝統的な漁法が数多く受け継がれ、鮎を使った郷土料理も食文化として根付いています。

また、清流が保たれることにより、美濃和紙や郡上本染などの水と密接なつながりのある伝統工芸が引き継がれ、長良川の持続的なシステムを育んでいます。

清流長良川の恵みの逸品やあゆパークの紹介

「清流長良川の鮎」の普及啓発や保全・継承につながる商品を「清流長良川の恵みの逸品」として認定する制度が制定されています。

恵みの逸品に認定されることにより、ロゴマークの販売商品への使用が可能となり、商品のイメージアップや販路拡大につながっています。

郡上市白鳥町にあるあゆパークでは、自然にふれあいながらの漁業体験や、魚の塩焼き、飯ごう体験や燻製体験等の食体験、間伐材を利用した箸作り等のクラフト体験ができます。



インターンシップ（就業体験実習）の実施状況

インターンシップの目的

インターンシップは、大学等に在籍する学生を対象に、国営事業の調査・計画や各種工事に係る測量・設計等の実務作業を体験し、農業農村工学等の理解を深めることを目的に毎年7月から9月までのうち2週間を基本に実施しています。

木曽川水系土地改良調査管理事務所でのインターンシップ

当事務所では、管内の土地改良事業の調査・計画、事業の実施、施設の保全管理を行っています。実習では、調査の基礎データとするための流量観測、調査地区の現地見学、工事現場の見学、土地改良事業に携わる県や土地改良区の職員から直接声を聞く体験等を実施しています。


粟生頭首工の施設見学

本稿では、この実習で特に人気のある生き物調査を紹介します。

毎年、愛知県安城市榎前町の「榎前町内会」及び「榎前環境保全会（多面的機能支払交付金の活動組織）」に生き物調査の体験を含めた受け入れをお願いしています。

令和５年９月に行った実習では、榎前町内会長の加藤研一会長から榎前町（自治会）の多岐に渡る取組内容について、現場視点でのご講義を行っていただくとともに、榎前環境保全会の加藤辰雄代表から生き物調査のご指導を受け、身近な農村環境と共生していく重要性について、丁寧に教えていただきました。

学生からは、「自治会が新しい活動を積極的に取り入れようとする姿勢に感銘を受けた」「水路に棲む多様な生物を確認できたことは貴重な経験だった」などの声が上がりました。


榎前町内会の加藤会長より講義


榎前環境保全会の加藤代表と生き物調査

犬山頭首工管理所での実習内容の紹介

犬山頭首工は、木曽川の両岸に広がる濃尾平野の中央に位置し、岐阜県と愛知県に農業用水を配水するため国が直轄管理している頭首工で、全国でも珍しい頭首工の一つです。

実習では、魚類の遡上調査とデータ整理作業、ゲート設備の点検作業や塗膜厚調査、頭首工の清掃作業など日常管理について学ぶとともに、直轄管理施設における一連の管理業務についての流れの体験を実施しています。


ゲート設備の塗膜厚調査

当事務所のインターンシップでは、土地改良事業の調査・計画から実施までの流れや、施設の保全管理、頭首工の維持管理など土地改良事業の全般の体験を学生に提供しています。今後も土地改良事業関連分野への就業意欲を高めていけるよう努めていく所存です。

農業水利ストック情報データベースシステムの活用

１　農業水利ストック情報データベースシステムとは

農林水産省では、ストックマネジメントの円滑な推進のため、農業水利ストック情報データベースシステム（通称、ストックDB）を構築しています。

本データベースには、国営土地改良事業等で造成された土地改良施設の施設諸元、維持管理情報、補修等履歴情報、機能診断結果等の多様な情報を蓄積しています。これらの情報を一元的に管理することで、必要な時に必要な情報へのアクセスが容易となり、日常管理や機能診断時はもとより災害や突発事故発生時における迅速な施設諸元情報の確認に役立ちます。また、継続的に履歴情報を蓄積していくことにより施設の劣化予測の精度が向上し、適切な対策工法を検討することに役立ちます。その他にも、自らが管理する施設以外の情報を参照して事例収集を行う等の様々な場面で役立てられることを本システム整備の目的としています。

２　システム内の主な情報

ストックDBでは主に以下の情報が保管・蓄積されています。

（１）施設諸元　　：施設名称、構造・規格、寸法、建設費、造成年度、図面
（２）維持管理情報　：管理体制、観測計測履歴、施設操作履歴、事業費
（３）補修等履歴情報：補修工事名、施工年月、補修補強工法、点検整備内容
（４）機能診断情報　：調査位置、調査年月、劣化因子別測定、主劣化要因

３　本システムの利用について

現在、東海農政局管内では、国営施設については調査管理事務所及び国営事業所が情報の入力を行い、施設管理者の皆様にはそのための情報提供にご協力いただいています。

また、付帯県営施設については各県にて情報を入力いただいています。

＜利用者ごとの使用可能な機能＞

<table>
<tr><th>主項目</th><th>副項目</th><th>調査管理事務所
国営事業所</th><th>県</th><th>施設管理者</th></tr>
<tr><td rowspan="6">施設情報等の入力・編集</td><td>事業情報</td><td rowspan="6">○
（所属局内の全国営事業）</td><td rowspan="6">○
（所属県内の全県営事業）</td><td>－</td></tr>
<tr><td>施設諸元情報</td><td rowspan="5">○
（所属局内全事業）</td></tr>
<tr><td>施設関連資料</td></tr>
<tr><td>維持管理情報</td></tr>
<tr><td>補修等履歴情報</td></tr>
<tr><td>点検整備情報</td></tr>
<tr><td rowspan="6">施設情報等の閲覧・出力</td><td>事業情報</td><td rowspan="6">○
（全事業）</td><td rowspan="2">○
（全事業）</td><td rowspan="2">○
（全事業）</td></tr>
<tr><td>施設諸元情報</td></tr>
<tr><td>施設関連資料</td><td rowspan="4">○
（東海３県の全事業）</td><td rowspan="4">○
（東海３県の全事業）</td></tr>
<tr><td>維持管理情報</td></tr>
<tr><td>補修等履歴情報</td></tr>
<tr><td>点検整備情報</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能診断・施設監視・管理
（作成及び閲覧可：○、閲覧のみ可：△）</td><td>施設機能診断</td><td rowspan="3">○
（所属局内の全国営事業）</td><td rowspan="3">○
（所属県内の全県営事業）</td><td rowspan="3">△
（所属局内の全事業）</td></tr>
<tr><td>機能保全計画</td></tr>
<tr><td>施設監視記録</td></tr>
<tr><td>事故記録</td><td>△</td><td>△</td><td>△</td></tr>
</table>

ストックDBは、より利用しやすいシステムとなるよう随時アップデートされています。利用者の皆様におかれましても、農業水利施設の保全管理のため、今後も継続的なデータの蓄積にご協力いただきますようお願いします。

なお、本システムの利用にはユーザーIDとパスワードが必要です。木曽川水系土地改良調査管理事務所 企画課で発行していますので、お問い合わせください。

「矢作川沿岸地区」の全体実施設計に着手します

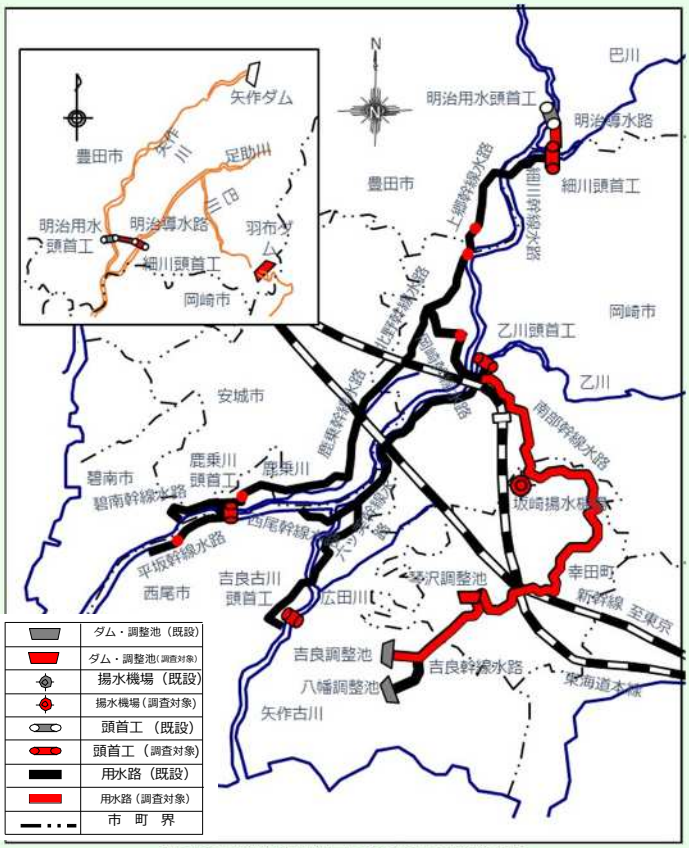
1　矢作川沿岸地区の概要について

矢作川沿岸地区は、矢作川中下流部に位置する農業地帯です。ダム、頭首工、幹線水路等の基幹的農業水利施設は、国営土地改良事業等によりが整備され、地域の農業用水等を安定的に供給しています。一方、造成後30～40年が経過し、農業水利施設の老朽化や大規模地震の発生を想定した耐震化対策の検討が必要であることから、平成26年度から「地域整備方向検討調査」に着手し、平成30年度からは「地区調査」に移行して具体的な事業の計画を検討してきました。

これまでの調査を踏まえ、令和６年度から次の段階である「全体実施設計」にステップアップし、事業実施に向けて詳細な設計に着手します。



位置図



矢作川沿岸地区の計画平面図

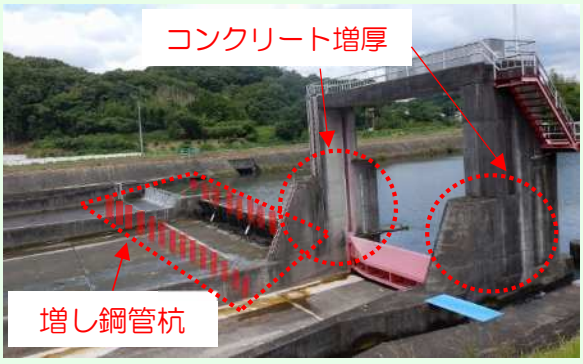
2　これまでの調査の状況

調査の初期段階である「地域整備方向検討調査」では、事業の必要性、技術的可能性、経済的妥当性、地域における課題の把握、環境との調和への配慮などを検討し、これらを踏まえた整備構想を検討しました。

次の段階である「地区調査」では、施設の整備計画関係では、主に、幹線水路や頭首工において耐震性能の照査、対策工法の検討、老朽化対策の検討を行いました。

また、本地区における基幹的農業水利施設の一部は、水道用水との共同施設であるため、水道事業との共同事業として調整を進めています。一部の水路では、非かんがい期においても水道用水を通水する必要があるため、新たにバイパス水路の整備計画を検討しました。

さらに、近年では、地区の下流域にある南部幹線水路のパイプラインにおいて、漏水事故が起きていることから、それに対処するための整備計画の検討を行っています。



頭首工の耐震化対策（細川頭首工）


パイプラインの破裂（南部幹線水路）

3　全体実施設計について

全体実施設計は、工事に着手できる精度の工事計画の詳細設計を行います。これは、事業着手後において総事業費の著しい変動を防止することなどを目的とするものです。今後、測量・地質調査、施設の基本設計、受益面積や費用対効果の精査を行いつつ、着工に向けて、土地改良区、受益市町、愛知県など関係機関の皆様からも協力を得ながら、調査や設計を進めていきたいと考えています。

国営かんがい排水事業「西濃用水第三期地区」事業着工

１　事業計画の概要・目的

本地区は、岐阜県の南西部に位置し、１市６町にまたがる受益面積4,928haの農業地帯で、水稲を中心に水田の畑利用による小麦、大豆等を栽培する土地利用型農業とブロッコリー、柿等の高収益作物を組み合わせた農業が展開されています。

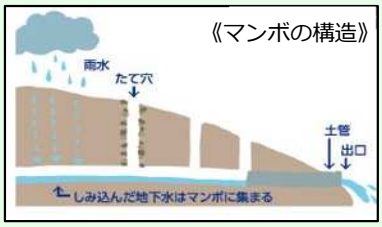
国営事業実施前の農業用水は、揖斐川とその支流及びため池、地下水等に依存していましたが、干ばつにしばしば襲われる地帯であり、その上、経済成長等に伴い地下水利用が増え、揖斐川本川の河床低下も加わって地下水が低下し、ますます水不足に悩まされるようになっていました。



位置図


堀田※1と伊吹山


掘りつぶれ※1を行く田舟



マンボ（地下水を集める横井戸）

写真出典：大垣市輪中館（河合孝氏撮影）

このため昭和43年度から昭和58年度に「国営西濃用水土地改良事業」を実施しました。揖斐川上流の横山ダム※2に水源を確保し、中流部に岡島頭首工が新設されるとともに、幹線用水路と水管理施設が建設されました。また、県営事業により、支線水路の建設や農地の整備が行われ、地区の南部地域では農地の排水改良が実施され、農業の近代化が図られました。

その後、これら造成された施設は30年以上が経過し、利用環境の変化や施設の老朽化が見られるようになり、突発的な漏水事故等の増加、漏水に起因する道路の陥没等の二次災害が発生し、施設の補修や維持管理など多大な費用と労力を要していました。このため、緊急性の高い施設を対象に平成21年度から平成26年度に「国営西濃用水第二期土地改良事業」を実施しました。

※1：輪中の中でも土地（農地）の低い地域では排水が悪く、収穫に悪影響が出るため、土地の一部を掘って別の場所に積み上げ、そこで稲作を行う「堀田（ほりた）」が作られ、掘った場所は「掘りつぶれ」と呼ばれる水路として、収穫した作物を運ぶために利用されていました。

※2：当初は横山ダムを水源としていましたが、徳山ダム完成後は水源を徳山ダムに振り替えて管理・運用されています。


岡島頭首工着工前の状況
（昭和40年当初）

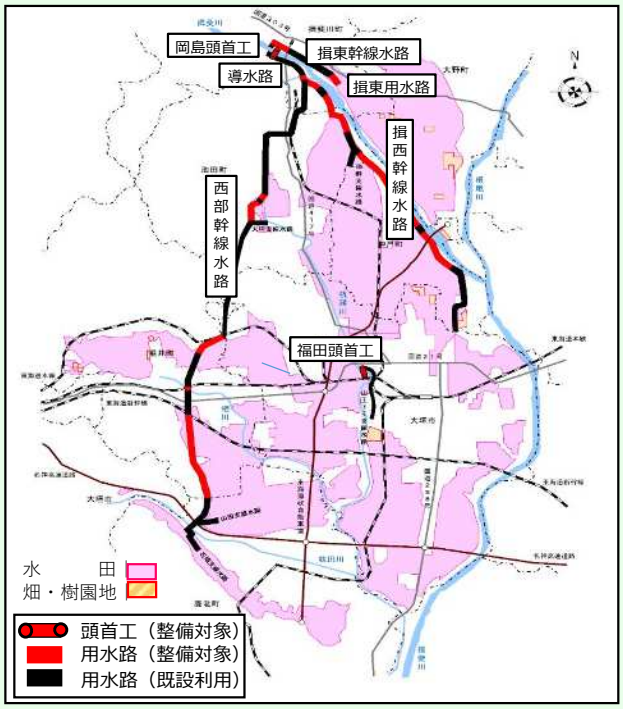

岡島頭首工の完成状況
（昭和51年）


パイプ・イン・パイプ工の状況
（西濃用水第二期土地改良事業）

「国営西濃用水第二期土地改良事業」により一部の施設の改修は行ったものの、未改修の施設については、用水路の目地からの漏水等が生じています。また、頭首工等の一部施設は、必要な耐震性を有していないことから、大規模地震が発生した場合には、地域に甚大な被害を及ぼす恐れがあります。

このため、「国営西濃用水第三期土地改良事業」では、農業用水の安定供給と農業水利施設の維持管理の軽減を図り、農業生産性の向上及び農業経営の安定に資することを目的として、老朽化した農業水利施設の改修と併せて大規模地震を考慮した耐震化対策を行います。

西濃用水第三期地区　対象施設位置図



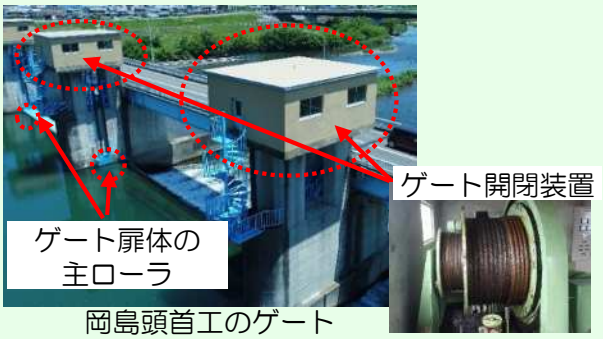
関係市町	大垣市、養老町、垂井町、神戸町、揖斐川町、大野町、池田町（１市６町）
予定工期	令和６年度～15年度
受益面積	4,928ha （水　田　4,840ha 畑・樹園地　88ha）
総事業費	130億円（令和３年度単価）
主要工事	○頭首工（改修） 岡島頭首工（１か所） 福田頭首工（１か所） ○用水路（改修）L=15.3km 揖東幹線水路（L=0.6km） 導水路（L=0.3km） 揖西幹線水路（L=7.2km） 西部幹線水路（L=6.6km） 揖東用水路（L=0.6km） ○水管理施設（改修）

２　主要工事計画

■頭首工

岡島頭首工はゲート扉体の主ローラの耐震強度が不足していること、ゲート開閉装置及び取水工除塵設備の老朽化が進んでいることから、ゲート扉体の主ローラの更新、ゲート開閉装置の塗装・分解整備、除塵設備の更新を行います。

福田頭首工は築造後80年以上が経過し、老朽化が著しいとともに耐震性を有していないことから、現在の位置より50m上流側に、耐震性を有する頭首工（起伏堰）として全面改修します。



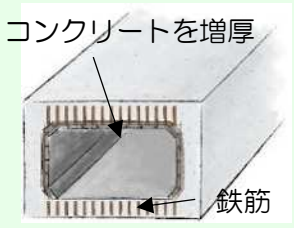
岡島頭首工のゲート



福田頭首工整備イメージ

■幹線水路

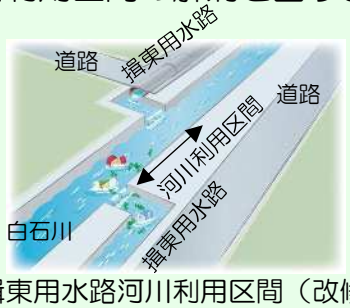
幹線水路のうち、幹線道路の直下に埋設されているなど重要度が高い区間で、耐震性を有していない箇所について耐震化対策を実施します。一部は老朽化のためコンクリート管の継ぎ手から漏水等が発生しているため、埋設された幹線水路をパイプ・イン・パイプ工法等により補修します。また、揖東用水路の一部区間は白石川を用水路として利用していますが、河川の水位変動に対応した取水樋門の操作や、水路に流入した藻やゴミの除去に苦慮しています。このため、用水路を新設することにより河川利用区間の解消を図ります。



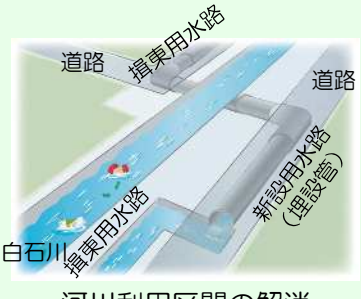
耐震化対策工イメージ



管路補強工イメージ



揖東用水路河川利用区間（改修前）



河川利用区間の解消

西濃用水第三期農業水利事業所は令和６年４月に開所し、事業を実施する予定です。

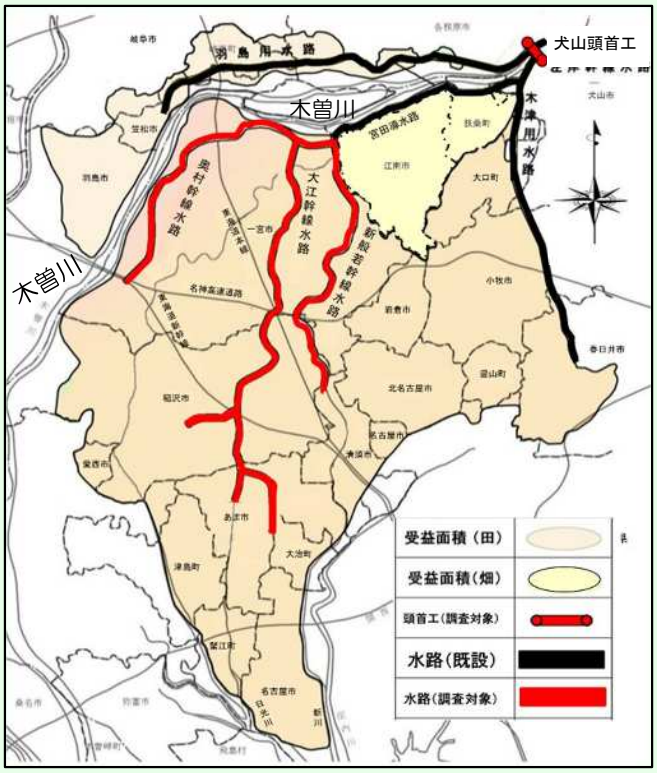
地域整備方向検討調査「濃尾用水第三期地域」

1　「濃尾用水第三期地域」について

本地域は、木曽川両岸に広がる濃尾平野中央に位置し、木曽川を水源とする約8,600haの水稲を中心とした都市近郊の農業地帯です。これまでに国営事業で整備された基幹的農業水利施設は経年劣化が進んでいます。さらに、市街地にあることから、大規模地震が発生した場合、周辺地域への被害が懸念されます。そこで、老朽化した施設の改修と併せて耐震化対策を検討するため、 令和元年度から「地域整備方向検討調査」を実施しています。



位 置 図



濃尾用水第三期地域の対象施設位置図

2　地域の特徴や課題

本地域は名古屋市を中核都市とする中京工業圏にあり、交通及び物流の要所でもあることから、戦後から高度成長期以降、都市化が進展しています。濃尾平野は木曽三川により形成された沖積平野であり、南部には大規模な海抜ゼロメートル地帯が広がっています。

また、地層の性質や地下水位が高いことから、大規模地震の発生時には全域にわたり液状化の危険が極めて高くなっています。

さらに、農業用水の管理に関し、経営面積の大規模化により、水需要が一時的に集中することや、地区の分水工で管理者が不足するなど、新たな課題も生じています。

3　現在の調査状況及び今後の予定

都市化が進む本地域の課題を踏まえ、施設の整備計画の検討を行っています。具体的には、パイプラインを更新する場合、開削工法では、住居等に近接しているため、騒音・振動対策や生活交通確保の観点から工期が長期化する恐れがあります。このため、既存の水路内に新たな水路を設置する工法や、シールドマシーンで地中を掘削し配管を行うシールド工法など、最適な整備計画になるよう検討を行っています。

また、水路には耐震性を持たせ、液状化に対応できる整備計画を検討しています。

さらに、これまで国営事業で整備した幹線水路の延長が長いため、整備後における施設の維持管理や配水が効率的になるよう計画する必要があります。

これらを総合的に検討することで、将来に想定される地震や施設の老朽化などに対処できる計画を策定していきます。



本地域の水路の標準的な断面
（左：排水路、右：地中に用水路）


地域内の農業水利施設（水位調節施設）

直轄管理事業「濃尾用水地区（犬山頭首工）」の環境配慮対策について

１　環境配慮計画とは

環境配慮計画とは、農業農村整備事業を行う際に、効率的な農業を実現しつつ、環境への負荷や影響の回避・低減により生物多様性や農村景観に配慮し、持続可能な社会の実現に寄与するための計画です。

濃尾用水地区における環境配慮計画は、平成24年に策定されています。

２　犬山頭首工における環境配慮

濃尾用水地区の環境との調和への配慮の基本理念は「人・緑～未来へ」です。

この基本理念に基づき、生態系配慮として、地区において確認された生物の中から魚類と両生類に着目して、保全対象種を選定しています。

保全対象種及び選定理由については、下記のとおりです。

①オオサンショウウオ：個体数が減少しており、希少性が高い。
②アユ：地域の食文化と関係の深い種であり、文化伝承のために保全する。
③底生魚（カマツカ、ヨシノボリ類等）：河川と幹線水路を生息域とし、地域全域で確認できる典型種であるため保全する。

頭首工では、下記の内容で継続的にモニタリングを行い、環境配慮対策の評価を行っています。


犬山頭首工で確認されたオオサンショウウオ


犬山頭首工の上下流を行き来する魚類

対象施設		保全対象	モニタリング計画		
施設名	対策場所		内容	時期・回数・期間	体制
犬山頭首工	本体	オオサンショウウオ	生息状況（併せて水質、餌となる魚類の調査も実施）	約４か月に１回	・調査：犬山頭首工管理所等
	魚道	魚類	遡上状況調査	春期（遡上）と秋期（降下）時期の２回／年	・調査：犬山頭首工管理所

３　オオサンショウウオ調査隊について

令和５年11月５日（日）、木曽川河畔において各務原市主催のイベント「オオサンショウウオ調査隊」が開催され、管理所職員も現地支援を行うとともに直轄管理事業等のPR活動を行いました。

調査隊では、近隣の高校の協力のもと、木曽川河畔（鵜沼地区）において、市内在住の小・中学生とその保護者26名を対象にオオサンショウウオの観察等が行われました。

当日は、高校生のクイズ形式によるオオサンショウウオの生態の説明が行われた後、河畔において前日仕掛けたかご網で捕獲された個体の体長や重さ等について調査を行い、また触れることを通じてその生態を学びました。

参加者からは、「普段見ることがないオオサンショウウオについて学ぶ良い機会となりました」との声が寄せられました。

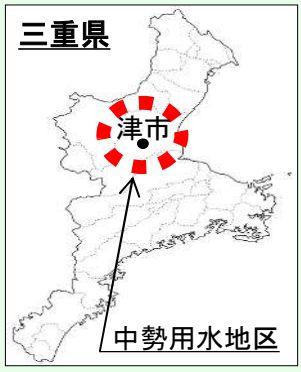

高校生による生態の説明状況


調査隊で確認されたオオサンショウウオ

国営施設機能保全事業「中勢用水地区」

１　事業の概要

本事業は、国営中勢用水土地改良事業（昭和47年度～平成２年度）で造成した安濃ダム、第三頭首工及び用水路等の機能を長期にわたり保全するため、安濃ダムの堆砂対策及び基幹的な農業水利施設の補修整備を実施するもので、平成24年度に事業着手し、令和５年度に事業完了となりました。



位　置　図

２　令和５年度の実施内容

令和５年度は、安濃ダム堆積土砂の搬出先である盛土場の最終整備、安濃ダムの取水設備、幹線水路設備等の補修整備を行いました。


安濃ダム取水口ゲート（整備後）


第三頭首工洪水吐ゲート（整備後）


幹線水路調圧水槽ゲート（整備後）

３　国営施設機能保全事業「中勢用水地区」閉所式

令和６年２月9日に中勢支所の閉所式を開催しました。

本事業の関係者（三重県・津市・亀山市・中勢用水土地改良区）12名が出席され、当事務所長より主催者挨拶、支所長から事業経過報告を行いました。最後に、関係者による看板下掲式を行い、閉所式を終了しました。



閉所式の様子
（石島事務所長による挨拶）



看板下掲式

国営施設機能保全事業「尾張西部地区」

１　地区概要等

本地区は、愛知県の西部に位置する名古屋市外8市2町1村にまたがる受益面積11,608haの農業地帯です。

本事業は、国営尾張西部土地改良事業（昭和60～平成8年度）により造成された日光川河口排水機場及び尾西排水機場のポンプ設備等の機能を保全するための整備（機能保全対策）と、併せて想定される大規模地震に対する耐震化のための整備（耐震化対策）を行うものです（総事業費：80億円（平成27年度時点）、事業工期：平成27年度～令和8年度（予定））。



位置図

２　令和５年度の実施内容

(1) 日光川河口排水機場

〇日光川河口排水機場補機・電気設備更新工事
補機・電気設備更新１式

〇日光川河口排水機場５号ポンプ設備整備工事
ポンプ整備 １基（口径4,600mm、減速機、原動機）

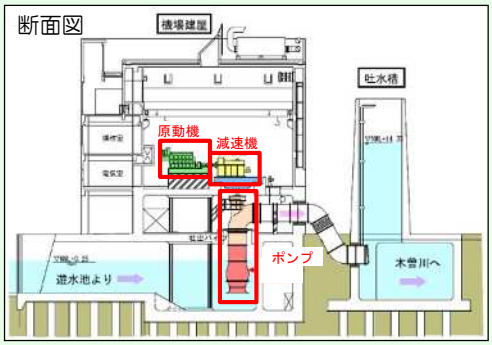
(2) 尾西排水機場

〇尾西排水機場領内川1号ポンプ整備補修工事
ポンプ整備 １基（口径1,800mm、減速機、原動機）

〇尾西排水機場領内川２号ポンプ整備補修工事
ポンプ整備 １基（口径1,800mm、減速機、原動機）

〇尾西排水機場補機・電気設備更新工事
補機・電気設備更新１式

〇尾西排水機場　監視操作設備更新その１工事
監視操作設備更新１式



尾西排水機場

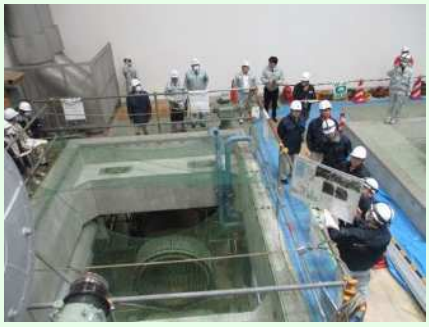
３　尾西排水機場領内川１号ポンプの現地見学会

尾西排水機場では領内川１号ポンプの分解整備を進めています。

この分解作業のタイミングに合わせて、分解されたポンプ設備の現地見学会を令和５年11月24日に実施しました。

見学会では、土地改良区、市町村、愛知県等からの60名以上の関係者に排水機場の役割や管理状況等についての説明を行った後、供用開始から25年以上経過したポンプ設備内部の現状を見学いただきました。


機場の役割、管理状況を説明


工事概要を説明


分解後のポンプ（羽根車）を見学


経年劣化した羽根車（φ1,800mm）

木　曽　川　水　系　土　地　改　良　調　査　管　理　事　務　所

〒466-0857　愛知県名古屋市昭和区安田通4-8
東海農政局安田庁舎１階

TEL　052（761）3191

■地下鉄桜通線「吹上」駅から徒歩約20分
鶴舞線「川名」駅から徒歩約15分

■名古屋高速２号東山線
「吹上」出口から車で約10分
「春岡」出口から車で約10分

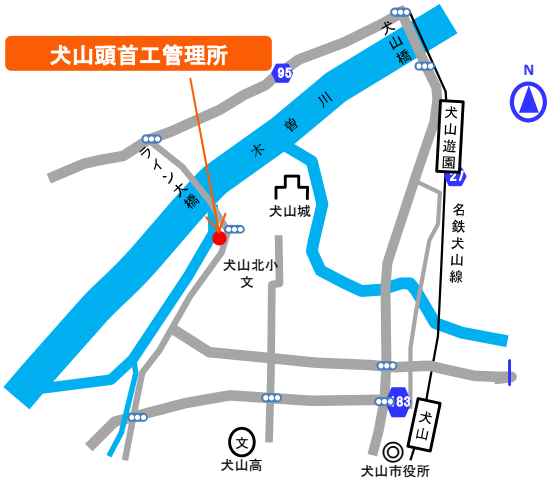


犬　山　頭　首　工　管　理　所

〒484-0082　愛知県犬山市大字犬山字北古券

TEL　0568（61）1003

■名鉄犬山線「犬山」駅から徒歩約15分



中　勢　支　所（令和６年３月末　閉所）

〒514-0051　三重県津市納所町524番地
中勢用水土地改良区中央管理所２階

TEL　059（213）9350

■JR・近鉄・伊勢鉄道「津」駅から車で約10分

■近鉄「津新町」駅から車で約10分



広報誌は木曽調ＨＰにも掲載しています。
https://www.maff.go.jp/tokai/noson/kisocho/index.html

令和６年３月発刊